



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名		B1-No. 7		調査位置		広島県安芸郡熊野町出来庭地内（椎川支川2溪流）					北緯		34° 20′ 36.6588″				
発注機関		広島県西部建設事務所					調査期間		2020年 9月 10日 ～ 2020年 9月 15日					東経		132° 34′ 24.0809″	
調査業者名				主任技師			現 場 代 理 人		コ 定 者		ボーリング責任者						
孔口標高		T.P. 283.69m		角 度		方位		地盤勾配	使用機種	試験機 東邦地下工機 DI・C							
総削孔長		5.00m								エンジン		ヤンマー NFD 12		ポンプ		東邦地下工機 BG 3C	

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代名	記	孔内水位／測定日	標準貫入試験							試料採取	室内位置試験	削孔月日						
												深度－N値図		N	深	100mmごとの打撃回数						打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試料番号	採取方法
(m)	(m)	(m)								事		値	度	度	0	100	200	300									
	283.19	0.50		シルト混じり砂		乳灰			新生代第四紀	砂分は細砂が主体をなす。微量の粗砂粒～細礫粒を混入する。	2020.09.11			24	1.15	6	8	10	24								
1				礫混じり砂		淡灰	rd3			コア長6～7cmの玉石分を少量含む。その他、φ10mm以下の中礫～細礫分も少なからず含有する。砂分は粗砂主体であり、マサ土質が強い。基盤岩との境界は明瞭である。					1.45	29	21	50	150								
2	281.34	1.75		強風化花崗岩		淡褐灰				花崗岩の強風化部（軟岩I）。固結度を保った短柱状コアをなすが、貫入試験は十分に受け付けず。褐色風化がやや強く、割れ目沿いにマサ状風化を伴う。D級。			100	2.39	貫入不能	50	0										
3	281.04	2.65		風化花崗岩		褐灰			中生代白亜紀	花崗岩の風化部（軟岩I）。岩片は少し稜さを増す。コアは5cm強の短柱状が主体。C級。					3.00	貫入不能	50	0									
4	280.69	3.00		弱風化花崗岩		淡褐灰				花崗岩の弱風化部（軟岩II）。コア長10～20cmの短柱～柱状コアが主体をなす。コア肌は少し粗く、岩質は脆い感がある。割れ目に沿って薄く風化し、鋭さに欠ける形状が多い。玉ねぎ状に風化している可能性があり、1.3.6～3.7m間の風化が強い。C級。					4.00	貫入不能	50	0									
5	278.69	5.00													5.00	貫入不能	50	0									
6															6.00	貫入不能	50	0									